

かわぐち

2007. 11月号 No.409

今月の主な内容

震災から3年 復興の誓い新たに…2～9
 狛江市・川口町ふるさと友好都市
 提携20周年記念式典挙行 ……10
 物産展を開催 ……11
 第10回フォトコンテスト入賞作品決定…12～13
 みんなで体を動かして健康づくり…14
 町臨時職員を募集しますほか…15
 ほか

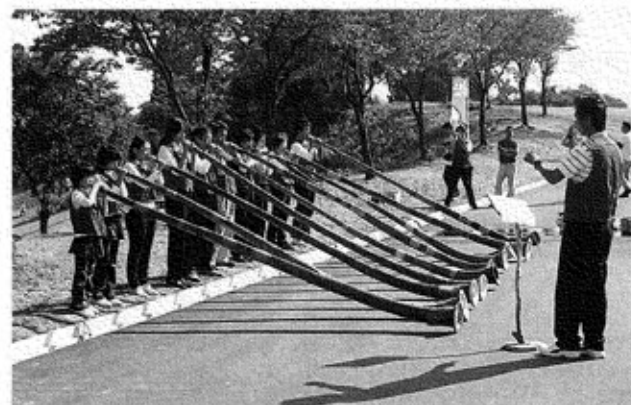
かわぐち いきいきびと

川口ホルンの会

平成9年に当時田麦山小学校の平澤校長先生の呼びかけで、地域の子どもから大人まで楽しむ活動として始めました。

根曲がり杉の間伐材を利用して同じものが2つと無い丸太ホルンを25本製作することからスタート、毎週火曜日に練習しています。堅い杉材独特の音色で人々を魅了します。ぜひ一度聴いてください。演奏してみたい方も募集しています。

問い合わせ 大淵 昇 ☎89-3638



防災体験キャンプでの演奏

アルプホルンの音色を体感してほしい

事務局 大淵 昇

地域と学校の関わりの中で、半数以上が子どもたちで、健全育成も目的として“下手でも楽しいアルプホルン”を合い言葉に練習を行い、スイス民族楽団との交流や神奈川国体の開会式、全国都市緑化フェアにいがた、福島県南郷村ヒメサユリまつり、川口まつり、小学校文化祭、クロスカントリー大会、田麦山自然塾など数多くのイベントや交流演奏をしてきました。

最近では、少子化により子どもたちが減り、学校では先生も参加、転勤されても演奏参加をいただいています。

これまでも多くは小学校のお世話になりながらの活動でした。今年度いっぱい田麦山小学校が閉校になります。今後は、川口小学校にも声かけをする中で、学校とは違う育成でホルンの会が関わればと考えます。

アルプホルンは唇だけの音階で、ド・ミ・ソ・ド・レ・ミでのスイスの民族曲です。独特の音色で聴く人を楽しませます。大人の方もやってみたい方は連絡をお願いします。

応援サポーター

○広報かわぐちの広告の規格など

規格 枠サイズ 縦45mm×横84mm
 刷り色 黒

掲載期間 1号単位で、最長12号連続掲載できます。(なお、広告枠に空きがある場合は、更新できます。)

掲載料 1号 5,000円以上

掲載枠数 最大4枠

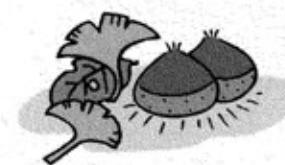
申込締切 毎月15日

問い合わせ 企画商工課 ☎89-3112

銘菓
 川口あおり太鼓
 いおの
 川口小唄

御菓子司
龍昇堂

TEL 0258-89-2039 FAX 0258-89-2312
 北魚沼郡川口町大字川口1954-3



広報かわぐちは
 再生紙を使用しています。

追悼と感謝の思いを込めて にいがたからみんなえがおに



10月23日、川口中学校グラウンドにおいて10.23追悼式典実行委員会主催による「新潟県中越大地震から4年目をむかえて-10.23追悼式典-」が行われました。

会場には約3千本のキャンドルを使い、「にいがたからみんなえがおに」のキャンドルメッセージが作成されました。午後5時56分には参加者全員で黙祷、その後、キャンドルジュンさんによるキャンドルの点火とYaeさんのコンサートが行われました。

キャンドルメッセージの作成には川口中学校3年生らも参加、震災犠牲者への追悼の思いと全国から受けた支援の感謝を込めて火を灯していました。



震災から3年 復興への誓い新たに

10月23日、中越大震災から3年。当町は全国の皆さんから様々な支援をいただきながら、復興に向けて一歩ずつ進んでまいりました。この節目に、中越大震災で犠牲になられた方々のご冥福を祈るとともに、全国の皆さんに震災での感謝の思いを発信し、新たな気持ちで復興に向けて取り組みます。

追悼と感謝、復興への誓い

中越大震災川口町3周年追悼式

10月23日午後5時56分、川口中学校体育館で中越大震災で亡くなられた68人の冥福を祈り、全町で黙祷を捧げました。

岡村町長は式辞で犠牲となられた方々のご冥福を祈り、遺族に哀悼の意をささげ、全国の支援をいただいた皆さんに感謝の意を表わすとともに「平成16年10月23日を決して忘れることなく、今この時から、更なる復興への

道を歩き始めることを誓う」と述べました。
古田島町議会議長からの追悼の辞の後、遺族が白いキクの花を献花、遺族を代表して古田島徳之さん(中山)が震災後の苦しい胸の内や震災時の支援への感謝の言葉を述べられました。
式典終了後、来場者は次々と献花し、祭壇に手を合わせていました。



「震度7の町」感謝と復興への祈念式典

10月14日、生涯学習センターにおいて全国からの支援に感謝し、これからの復興を誓い「震度7の町」感謝と復興への祈念式典が行われ、多くの支援をいただいた方々に感謝状が贈られました。

また横浜市の桐山大介さんや埼玉県立精神保健福祉センターの鴻巣泰治さん、前田泰山小学校長の丸山正次さんから当町に派遣された経験や震災時の体験などが、東川口町会、はあくとふる荒谷塾から復興に向けた取り組みなどが発表されました。

感謝状贈呈者(敬称略)

▽長期にわたって職員を派遣いただいた団体
・千葉県原市



- ・神奈川県横浜市
- ・新潟市
- ・新発田市
- ・五泉市
- ・大阪府大阪市
- ・兵庫県神戸市
- ・北陸ガス株式会社

- ▽ライフラインの復旧に多大な貢献をいただいた団体
- ・日本水道協会中部地方支部
- ・日本水道協会新潟県支部
- ・日本下水道協会新潟県支部
- ・社団法人日本ガス協会関東中央部会
- ・新潟県ガス協会

- ▽被災者の心身の健康管理に多大な貢献をいただいた団体
- ・社団法人日本看護協会
- ・社団法人新潟県看護協会
- ▽被災者のために多額の金品を支援いただいた個人及び団体
- 個人
- ・故 櫻井徳太郎
- ・西川(大阪府吹田市)
- ・鈴木正治(東京都狛江市)
- ・田中茂(福岡県北九州市)
- ・栗原恵美子(長岡市)
- ・他、非公開發者1名
- 団体
- ・東京都狛江市
- ・日本共産党中央委員会

感謝状贈呈基準(参考)

- 長期間にわたって職員を派遣いただいた自治体及び企業
- ライフラインの復旧・復興に特に尽力をいただいた団体
- 被災者の心身の健康管理に特に尽力いただいた団体
- 特に多額の金品の支援をいただいた個人(50万円以上)及び団体(300万円以上)

生活再建に目処

今月、東川口地区り災者公営住宅が完成し、仮設住宅の全入居者は引越しを完了、生活再建が一段落しました。
東川口り災者公営住宅 完成

昨年度から建設工事を進めていた東川口地区り災者公営住宅(しみず住宅)が完成し、10月13日から入居が始まりました。
しみず住宅は旧しみず住宅跡地に、平成18年10月から建

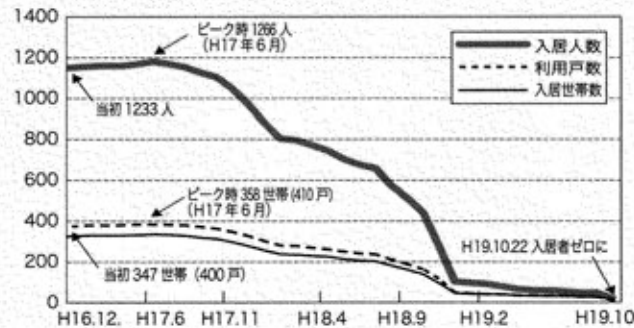


構造は鉄筋コンクリート造り5階建て(1階駐車場)で、1DK9戸、2DK24戸、3LDK6戸のほか集会室1戸です。
しみず住宅の完成により、り災者公営住宅は6地区、85戸が全て完成しました。

仮設住宅入居者全て 移転完了

10月22日、仮設住宅入居者の引越しが全て完了し、ピーク時には1266人が生活した仮設住宅は、その役目を終えました。今後は順次、解体し今年中には全ての仮設住宅を撤去します。

仮設住宅入居者・入居世帯数・利用戸数の推移



泉田知事が東川口地区り災者公営住宅を訪問

10月23日、完成したばかり



の東川口り災者公営住宅(しみず住宅)に泉田裕彦新潟県知事が訪れ、住民を激励しました。
泉田知事はしみず住宅を視察後、おにぎりやとん汁を食べながら、住民と懇談。「住み心地はいかがですか。」などと気さくに声をかけていました。

引越しボランティア活躍

10月14日、仮設住宅からしみず団地への引越しが進む中、高齢で引越しができない世帯を対象に引越しボランティアが引越しのお手伝いをしました。
川口町ボランティア連絡協議会の呼びかけに13人のボランティアが集まり、5世帯の引越し作業を分担して、荷物を手際よく仮設住宅から運び出していました。



感謝と激励の思いを発信

おかげ様感謝デー (10月13日～22日)

全国に感謝の思いを発信し、中越沖地震の被災地を激励するため、10月13日～22日、震災復興「おかげ様感謝デー」が行われました。



黄色いフラッグ大作戦

全世帯に1枚づつ黄色いフラッグを配付し、それぞれ感謝のメッセージを書き込んでもらい、玄関などに掲示していただきました。

また公共施設には小・中学校の児童・生徒が書いた感謝のメッセージ付きフラッグを掲示、商工業者の皆さんから協力してもらい、町中を黄色いフラッグで埋め尽くし、感謝の気持ちを表しました。



住所があきらかな1万人以上の方々に感謝のはがきを送付。延べ50名を超える住民ボランティアが、ラベル貼りや感謝のメッセージを書き込みました。また全世帯には2枚づつはがきを配布し、お世話になった親戚や友人、知人に感謝のはがきを送ってもらいました。合計で約1万5千枚のはがきが送られました。



写真、映像展「3年の軌跡」

生涯学習センターと交流体験館「杜のかたらい」において写真・映像展を開催しました。写真は被災写真を始め、復旧・復興の写事も展示し、復旧・復興に向けた川口町の姿を見てもらいました。また映像展では、震災直後の関東で放映されたニュース映像を放映、私たちが避難していた時の生々しい映像を放映しました。



木沢地区

「おかげ様感謝デー」 (10月13日)



約1千本のキャンドルで「木沢からありがとう。」のキャンドルメッセージを描きました。その後、地域住民、ボランティアなどと交流、地震当時の映像を放映しながら手作りそばや炊き出しのカレーを食べ、当時の思い出話などを語り合いました。

中山地区

「感謝イベント」 (10月13日)



きのこ汁や新鮮野菜、お菓子、わたがしなどを提供しました。会場はお汁に舌鼓を打ちながら歓談する人で賑わい、用意した分がすぐになくなってしまいう好評ぶりでした。また紫芋掘り体験で参加者は袋いっぱい芋をつめて大喜びでした。

牛ヶ島地区

「感謝イベント」 (10月14日)



けんちん汁ややきそばなどを提供。地区住民とボランティアと一緒に食べながら、震災時の体験談やボランティアの活動内容などを語り合いました。横浜市からスクーターで来たという方は、子どもたちに犬の形に作った風船をプレゼント、交流を深めていました。

相川地区

「復旧状況視察」 (10月13日)



参加者は約20名、相川地区の道路や農地を視察した後、長昌寺住職の横道雄さんから相川地区の歴史について講義を受けました。参加者は、震災当時ボランティアに来た方や学生で、震災当時の総代広井伸昭さんから復旧の状況を聞いていました。参加者には感謝のメッセージ付き地元魚沼産コシヒカリがプレゼントされました。

田麦山地区

「防災避難訓練」 (10月20日)



午後5時56分、災害発生の放送で地域住民はそれぞれの集会所など指定の避難場所集合し、班長の点呼を受けました。消火訓練や簡易担架の作り方講習の後、炊き出しのカレーを食べ、防災の意識を高めました。訓練後、復興祭が行われ、やきとりやフランクフルトなどを食べながら、ボランティアと語り合いました。

和南津地区

「絆の道ウォーク」 (10月21日)



震災時、主要な道路が寸断されたため、魚沼市側との連絡道として徒歩で歩いた旧三国街道約3kmを歩きました。参加者は約70人で水戸黄門一行に扮した「わくわく和南美」のメンバーを先頭に、震災時に徒歩で歩いた記憶などを話しながら2時間かけて歩きました。時には茶屋が設けられ参加者はだんごや甘酒などで一息つきました。



荒谷地区
「復旧状況視察」
(10月22日)

長岡造形大学の学生を中心に約15人が参加、地元の方のガイドで棚田の復旧状況や二荒神社、錦鯉のいけすを見学しました。参加者は地元の方の話を真剣に聞いていました。その後、荒谷集会所で震災時の体験などを語り合いました。



武道窪地区
「感謝イベント」
(10月21日)

とん汁やコシヒカリのおにぎりを提供しました。駅からハイキングの参加者や震災時にボランティアとして来た人などが訪れ、賑わっていました。震災時に取り壊した家のかたづけのボランティアをしたという群馬県から来た方は「震源に近い武道窪が元気ができてうれしい」と話していました。



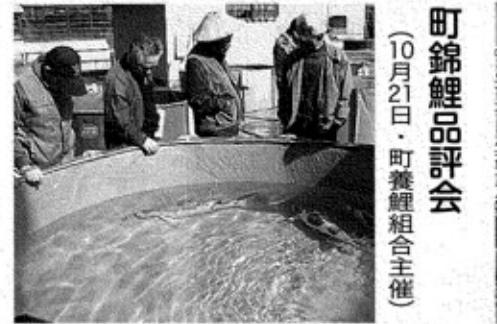
ONE LOVE 川口フェスティバル
(10月20日・たつまき堂主催)

すばしく川口周辺すべてを使ったコンサートやライブが行われました。すばしく川口では世界的なDJであるDJコマのライブ、公園内ではコンサートが行われました。参加者は思いの場所できつろぎながら楽しいひと時を過ごしていました。



ブラウンブレッドボイスコンサート
(10月13日・B.V.コンサート実行委員会主催)

生涯学習センターで栃木県のごスベルグループ「ブラウンブレッドボイス」のコンサートが行われました。このコンサートは、和南津地区と栃木県のボランティアとの交流がきっかけで行われたものです。当日は「コーラス川口」の友情出演もあり、会場全体に広がる迫力あふれる歌声に会場は大きな拍手に包まれました。



町錦鯉品評会
(10月21日・町養鯉組合主催)

第18部(18才未満)から第65超部(65才以上)までの合わせて229匹の錦鯉が出品され、会場に訪れた人をその美しさで魅了していました。(審査結果は18ページをご覧ください。)



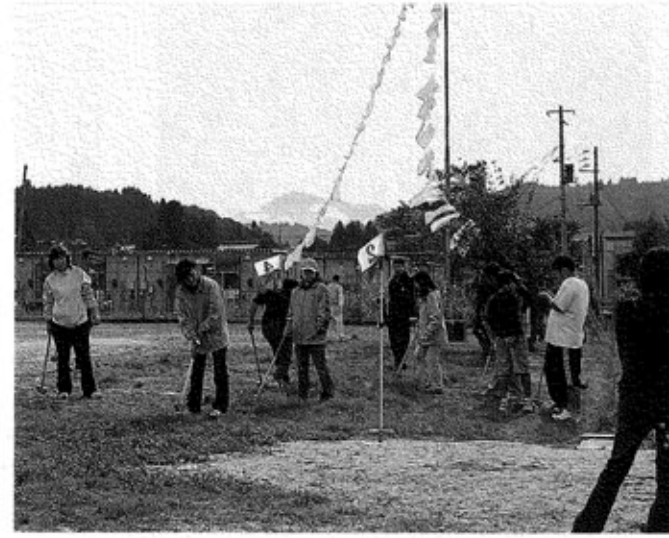
ふれあい朝市
(10月21日・町商工会主催)

恒例の朝市では、特売の玉子や無料の朝がゆが振舞われ、それぞれ長蛇の列、格安賞品を並べた商品は早々と完売していました。



感謝のメッセージ・お菓子プレゼント
(10月14日・ネクスコ東日本主催)

越後川口SAの上下線レストランにおいて、利用者すべてにお菓子がプレゼントされました。お菓子には「ありがとう」の感謝のメッセージ付き、従業員は感謝デーの案内をしながら手渡していました。



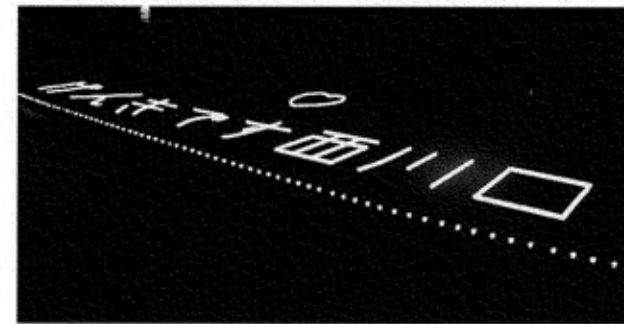
西川口地区

仮設に行つて恩返し
(10月13日)

中越沖地震の被災者を励ますために柏崎市2箇所と刈羽村1箇所の仮設住宅で、もちつきを行いました。仮設住宅入居者は配られたあんこやきなこもちを喜んで食べていました。

震災復興グラウンドゴルフ大会
(10月14日)

地区住民72人が参加、



子どもから大人まで一緒にプレーしました。参加者は一打一打に一喜一憂しながら楽しみました。キャンドルで感謝思い発信
(10月21日)
約1千本のキャンドルで「げんきです西川口」のキャンドルメッセージを描きました。またキャンドルで描いたハートのマークに、子どもたちが一斉に点火すると夜景にくっきりと浮かびあがりました。

ステージでは自分たちが元気であることが恩返しとカラオケ大会を行いました。参加者は自慢ののどを披露、また旅流草一郎さんと桑名シオンさんによるライブも行われ、会場は盛り上がりました。



東川口地区

「よつてえーふれあい市」
(10月14日・本町通り活性委員会主催)

本町通り復興活性委員会は毎月開催されている「よつてえーふれあい市」を、「おかげ様感謝デー」に合わせ、内容のバージョンアップを計画しました。

東川口地区提供の熊汁は、珍しい食材に行列ができる好評ぶり。東川口地区館による昔ながらの遊びに、子どもたちは大はしゃぎ。30店舗近いお店とよさこいソーランや小学生による子ども棒踊り、あおり太鼓などで賑わいました。本町通りは終日人で賑わい軒並み売切れの店が続出しました。

中越沖地震被災者を招待

また中越沖地震の被災者を激励するため、刈羽村から約50名を招待、参加者は「よつてえーふれあい市」を楽しみました。また川口温泉でゆっくりくつろぎ疲れを癒しました。参加者は「元気づけられました。地震に負けずがんばります。」と話していました。

川口地域の活性化に向けて

住民の交流組織 えちご川口交流ネットREN設立

9月18日集落の復興、活性化に取り組み集落や関係団体が集まり、それらをつなぐ中間組織「えちご川口交流ネットREN」(代表水落優さん)を立上げました。

当町では、中越地震後殆どの集落で過疎化高齢化が進行しましたが、反面その危機感を背景にボランティアなど外部からの支援、交流を力にして地域づくり活動が活発化しています。



しかしながら個々の集落や団体では、スタッフ不足や情報不足が課題で、このため各団体が情報を共有しながら連携し、元気な地域に向けた持続的活動につながる仕組みをつくるため、交流ネットRENを立上げたものです。

RENでは、外部の支援組織やNPOなどと連携し、ホームページの開設や情報誌の発行など内外に情報発信できる体制作りを進め、都市との交流促進や地域資源を活用した特産開発などにも取り組むこととしています。

また、町観光協会では、地域の復興・交流促進を担う、「地域復興支援センター」の設置を予定し、地域復興支援員を置き、集落や地域の元気づくりを支援していくことにしています。

町では、これらの組織が将来的に川口地域の窓口となるべく、支援していく考えです。

震災の爪あとを後世に残す

震災に標柱の設置とかわぐち震災街道の整備

中越地震震源地の武蔵窪地の棚田に震災(震源の真上の場所)の位置を示す新たな標柱が設置され、10月14日に木沢地区住民ら関係者約100人が参加しその除幕式が行われました。



▲標柱の除幕式

これは震災1周年の平成17年10月23日に設置された、町内小中学生のメッセージを記した木製の標柱が時の経過とともに文字が消えるなどしたため、震災3周年を機に中越防災安全推進機構が新たに設置したものです。新調された標柱はステンレス製で高さ1.8メートル。小中学生のメッセージもほぼ復元し、文字も特殊インクを使用し消えないようにしました。

また、震災や二子山遊歩道、木沢集落、狛江市との友好の碑など中越地震の記憶や傷跡が残る10箇所に説明看板が設置され、これらを巡るルート「かわぐち震災街道」として10月21日に「駅からハイキング」も行われました。



駅からハイキング
(10月21日・JR東日本越後川口駅主催)

越後川口駅に約30名が集まり、震災の傷跡が残るルート「かわぐち震災街道」をハイキングしました。参加者は中越地震の震災や二子山遊歩道などを巡り、地元ガイドの話を実際に聞いていました。

震災復興3年間の歩み

平成16年

10月23日
午後5時56分
中越大震災発生
観測史上初となる震度7を記録し、全戸に避難勧告を発令。同日午後7時に川口町災害対策本部を設置。川口町を含む3市1町が激甚災害に指定された。

・死者 6人
・重軽傷者 62人
・全半壊住宅 1097棟
・その他道路や農地など甚大な被害を受ける

11月6日
天皇・皇后両陛下が来町し、被災者をお見舞い

12月2日
仮設住宅への入居開始

平成17年

2月1日
町震災復興対策本部を設置
積雪が41cmを超える豪雪に。豪雪対策本部を設置。
災害救助法適用



6月28日
6・28梅雨前線豪雨水害発生

10月17日
町震災復興計画を策定

10月23日
新潟県中越大震災1周年祈念式典を挙げる

10月23日
新潟県中越大震災震災体験集「震度7!その時わたしは―忘れない大震災の記憶―」を発行

12月28日
豪雪警戒本部設置

1月6日
雪害対策本部設置

3月26日
地域づくり団体などの情報交換や交流を目的に集落夢づくり交流会が開催される

平成18年

9月1日
和南津、相川、田麦山地区り災者公営住宅が完成、入居開始

9月15日
貝ノ沢地区り災者公営住宅が完成、入居開始

10月8日
和南津地区で町主催の防災訓練

10月14日
かわぐち体験防災キャンプ「キッズ・トライ・キャンピング」を実施

10月15日
かわぐち体験防災キャンプ「イザ!カエルキャラバンinかわぐち」を実施

11月20日
町営よしとみ住宅の災害復旧が完了し、入居開始

12月16日
西川口り災者公営住宅が完成し、入居開始

12月23日
西川口小高地区小規模改良住宅が完成し、入居開始

平成19年

1月
町運動公園体育館の災害復旧工事が完了

3月25日
第2回集落夢づくり交流会が開催される

4月
小高地区防災集団移転促進事業が完了

6月27日
震災復興「おかげ様感謝デー」実行委員会を立上げる

7月21日
滞在型宿泊施設災害復旧工事が完成。「えちご川口ホテルサンローラ」としてオープン

9月1日～2日
川口町で地域復興交流会が開催される



平成20年

9月18日
「えちご川口交流ネットREN」設立

10月1日
震災復興「おかげ様感謝月間」はじまり、感謝の黄色いフラッグを町内で掲げ、感謝のしがきをボランティアに送付

10月13日
東川口り災者公営住宅が完成し、入居開始

10月13日～22日
震災復興「おかげ様感謝デー」がはじまり、各地区・団体などが感謝の気持ちを表すイベントを開催

10月22日
仮設住宅から全世帯が引越しを完了し、生活再建に一区切り

10月23日
新潟県中越大震災川口町3周年追悼式を挙げる

10月28日
えちご川口ホテルサンローラ駐車場で物産展を開催

中越大震災・中越沖地震 復興祈念

物産展

10月28日



中越大震災・中越沖地震復興祈念「物産展」が10月28日、えちご川口ホテルサンローラ駐車場を会場に震災復興祈念物産展実行委員会、秋まつり実行委員会の共催により行われました。

これは全国からの支援に対する感謝の思いを発信し、震災被災地の観光産業が地震に負けずがんばっている姿を全国にPRするために実施したものです。

静岡県富士川楽座や中越沖地震で被害を受けた出雲崎町など25団体（町内10団体、町外15団体）が出展、会場は物産を買い求める大勢の人たちで賑わいました。

にぎわいステージでは悠久太鼓や津軽三味線の演奏、町内3組のよさこいグループのほか長岡市、小千谷市の12チームの連続演舞などが行われ、来場者は一緒に踊ったり秋の一日を楽しんでいました。



にぎわいステージ



▲長岡技術科学大学の学生による悠久太鼓



▲よさこい参加者全員による総踊り



▲防火パレード



▲野菜釣り

狛江市・川口町ふるさと友好都市

提携20周年記念式典挙行

昭和62年に狛江市と「ふるさと友好都市」を提携してから今年で20周年。10月20日、狛江市長や狛江市議会議員を招き、狛江市・川口町ふるさと友好都市提携20周年記念式典を交流体験館「杜のかたらい」において挙行了しました。



友好の碑の除幕式

友好の碑は被災したまま保存、新たな交流の証として石碑を建立

20年の交流を祝う

10月19日には、矢野裕狛江市長や狛江市議会議員22名の方々が、町内の公共施設や公営住宅、各集落の復旧・復興の様子を視察されました。中越地震から3年で着実に復興している状況を見て心から喜んでいました。

10月20日の式典当日、矢野市長、高橋清治市議会議員からの祝辞の後、両市町の交流20年のあゆみの映像を紹介しました。参列者は20年の歴史の重みを再認識していただきました。

より強い絆に願いを込めて

式典終了後、会場をピクニック広場入口に移動し、記念セレモニーとして、「友好の碑」の除幕と記念植樹を行いました。

平成3年に狛江市から当町

に贈られ建立されたこの石碑は、推定重量34トン。中越地震で一瞬のうちに真横に25センチメートルも動いたことは、直下型地震のすさまじさを表しています。町では、これを被災したまま保存することにし、隣に地震後の経緯を記した新たな石碑を設置しました。



記念品交換

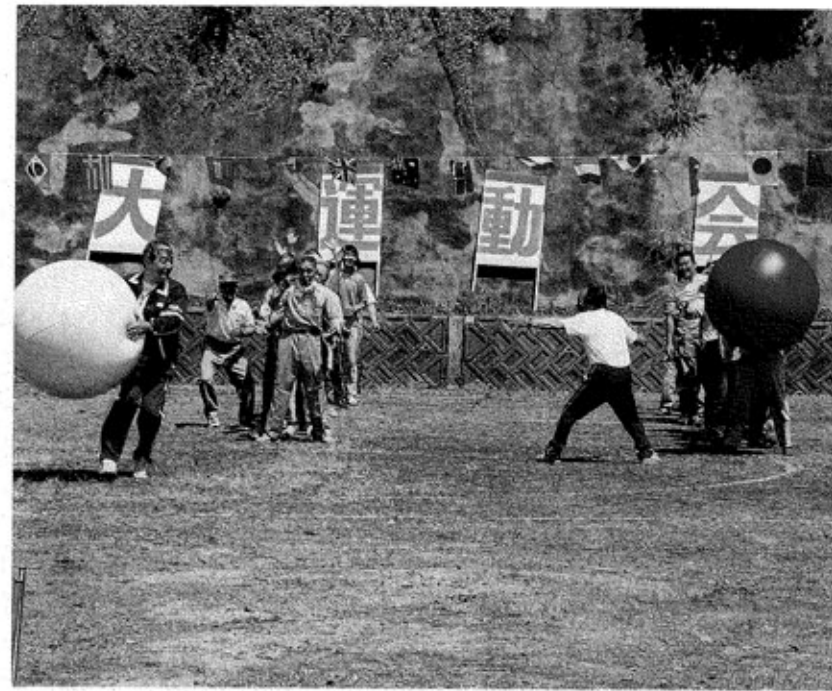


「イチヨウ」の木の植樹

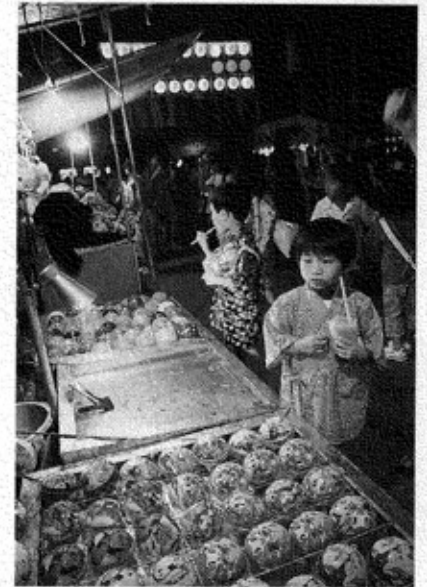
この石碑は、「地震の猛威を後世に伝えるとともに、震災時苦難に直面した川口町に対する狛江市の物心両面における迅速かつ献身的な支援・救援活動に感謝の思いを表す新たな友好の証」とするために設置したものです。その後、狛江市から記念品としていただいた「イチヨウ」の木の植樹を参列者全員の手で植えました。この木がすくすく育ち狛江市・川口町の交流が益々深まることを願いました。

第10回 生き生きとした写真集まる フォトコンテスト入賞作品決定

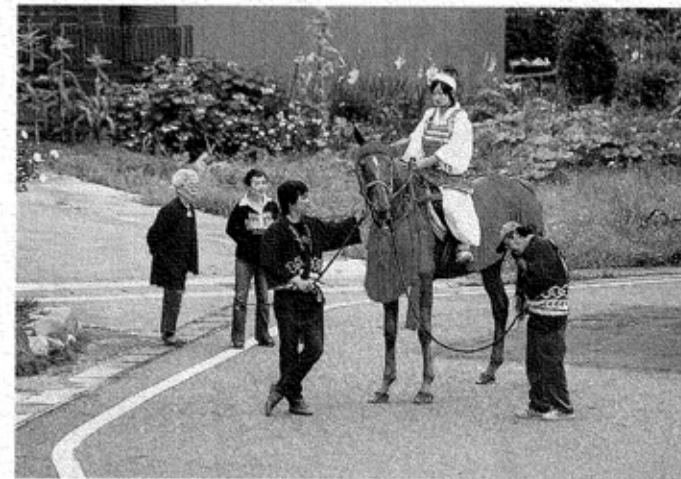
人々の生き生きとした姿、生活感あふれる作品を募集した「第10回川口町フォトコンテスト」。元氣な町民の姿など154点に及ぶ応募があり、審査員の山田昌男さん(新潟県写真家協会会長)と岡村町長による厳正な審査の結果、最優秀賞は星野忠明さん(木沢)の「運動会」に決定しました。入賞者及び入賞作品を紹介します。



最優秀賞「運動会」星野忠明さん(木沢)



優秀賞「眼差し」
神尾彰さん(山形県)



町長賞「初陣」小野里透さん(燕市)



優秀賞「望みを託す」外山和子さん(魚沼市)



特別賞「魚沼産のおにぎりは
美味しいね♡」
木内久美子さん(千葉県)

フォトコンテスト入賞者紹介 (敬称略)

- ▼最優秀賞
「運動会」星野忠明(木沢)
- ▼町長賞
「初陣」小野里透(燕市)
- ▼優秀賞
「眼差し」神尾彰(山形県)
- ▼特別賞
「魚沼産のおにぎりは美味しいね♡」
木内久美子(千葉県)
- ▼富士フィルム賞
「復興の街行く女みこし」
早川恭弘(三条市)
- ▼フジカラー賞
「水もしたたる」
川上満(小千谷市)
- ▼新潟日報社賞
「ヤッター(とったぞ)」
古田島正佳(中山)
- ▼入選(順不同)
「願うー無病息災」
覚張敏夫(長坂)
- 「宴会」増田正利(新敷)
- 「雨に咲く小さな傘の花」
川上英樹(小千谷市)
- 「五月雨の棚田」
桜井博之(魚沼市)
- 「最後の渡し」
大滝 登(新潟市)

文化祭でフォトコンテスト作品を展示します

11月2日から11月4日まで

文化祭において第10回川口町フォトコンテストの入賞作品及び応募作品を展示します。力作ぞろいの写真をぜひご覧ください。

11月2日(金)～4日(日)

時間 9時～22時
会場 生涯学習センター
問い合わせ 企画商工課
☎89-3112



コンテスト審査の様子

- 「花火大会」
中林愛一郎(川口6)
- 「春の足あと」
早川昭雄(長岡市)
- 「暑いでしょう」
桑原秀一(長岡市)
- 「こんがり」と…
平澤正光(長岡市)

写真集 「えちごかわぐち 麗しきふるさと」 を発売

町制施行50周年と川口町フォトコンテストの10回目を記念して写真集「えちごかわぐち 麗しき心のふるさと」を発売しました。これは川口町フォトコンテストの入賞作品を中心に構成したもので、川口町の

風景、人々の暮らし、まつりなどを収めています。ご希望の方には1冊500円でお譲りします。役場企画商工課、交流体験館「杜のかたらい」にてお求めください。



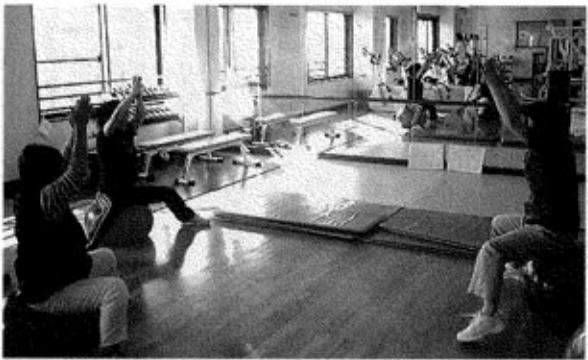
—購入希望者に有償でお譲りします—

問い合わせ 企画商工課 ☎89-3112

みんなで体を動かして

楽しく健康づくり

生活習慣病の予防には、運動の習慣づけや食生活の改善が効果的です。しかし、冬期間はどうしても運動不足になりがちで、体脂肪が増えやすくなります。健康のために運動をすることは誰でも関心はあるけれど、日々の忙しさに、つい後回しになってしまいがち。一人ではなかなか続かない運動も、仲間と一緒に実施することで、楽しく長く続けることができます。町では、町民皆さんの健康づくりのために健康教室を開催しています。ぜひ参加して健康づくりをしましょう。また地域や自主団体等でもさまざまな運動サークルがあります。



糖尿病予防教室

現在、成人6人に1人が糖尿病か予備群と言われ、医療機関での受診率が上位になるこの病気は、食生活の改善や運動療法ができないと治療をしていても悪化していくことの多い病気です。町では、糖尿病境界型の方を対象に予防教室を実施します。仲間と一緒に学んで、糖尿病を上手にコントロールできるようにしましょう。

対象者 ①糖負荷検査により糖尿病境界型といわれた方・その家族 ②過去に食事・運動療法指導を受けたことはあるが、再度学んでみたい方
実施方法 4回コース(12月～開始予定。詳しい日程は次回のお知らせ版でお知らせします)

生活習慣病予防いきいきアップクラブ

生活習慣病や寝たきり予防に、マシンを使った運動指導を行います。また、家でもできるバランスボールやリズム体操、ストレッチなども行っています。
対象者 全町民
実施方法 週2回(原則、月・木)
時間 13時～17時のうち2時間程度
場所 川口温泉トレーニングルーム
参加料 月額2千円
定員 40名程度

ちよつと体を動かしてみようかなという人は、いきいきアップ体操運動の習慣付けのきっかけとして、参加してみませんか。

町臨時職員を募集します

職種 保育士
募集人員 若干名
応募資格 概ね55才まで
保育士免許有資格者
採用日 平成20年4月1日から一年間
申込期間 又は取得見込者
11月1日(木)～30日(金)
応募手続 町総務課に履歴書を提出してください。
面接日時 後日連絡します
賃金及び福利厚生 川口町役場の規定による
問い合わせ 総務課
☎89-3111

農業所得収支計算説明会開催のお知らせ

農業所得の計算は、ご自分の収入金額から必要経費を差し引いて計算をする収支計算が原則です。収支計算をすることに不安をお持ちの方などを対象に、次の日程で説明会を開催します。ぜひご参加ください。
日時 11月16日(金) 14時～16時
場所 生涯学習センター
講師 税務署職員
対象者 農業所得のある方
問い合わせ 小千谷税務署
☎83-2093

第3回認知症予防教室のご案内

今回は、認知症に早く気づき、適切な治療につなげるにはどうしたらよいか、専門医より講義していただきます。どなたでも参加できますので、お気軽においでください。なお、会場準備の都合上、参加される方は、電話にてご連絡ください。
日時 11月19日(月) 13時30分～15時30分
場所 生涯学習センター
内容 「認知症を早期発見、早期治療するために」
講師 ほんだ病院 稲月原医師
参加費 200円
問い合わせ 町地域包括支援センター(黒島、山田)
☎89-3974

秋の火災予防運動 11月9日(金)～15日(木)

今年、当町で発生した火災は、9月30日現在1件で昨年の同時期より4件の減少となっています。これから暖房器具を使用することが多くなります。火の取り扱いについて「住宅防火 いのちを守る7つのポイント」で、ご家庭の火の用心をご確認ください。

住宅防火 いのちを守る7つのポイント

- 3つの習慣
・寝たばこは、絶対やめる
・ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する
・ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す
- 4つの対策
・逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する
・寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する
・火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する
・お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

問い合わせ 小千谷地域消防本部 予防課 ☎83-0238

か。家庭でもできる簡単な体操や骨盤体操など無理なく楽しく行います。
対象者 全町民
実施方法 週2回(原則、月・木)
時間 13時～15時
場所 末広荘
参加料 月額500円(12月から料金を変更予定です)
定員 30名程度

基本健診結果説明会 いきいき健康教室

今年の基本健診や人間ドックの結果はいかがでしたか。健診は、結果から生活習慣を振り返り見直すことによって、翌年の結果が違ってきます。健診結果説明と健康になるヒントが見つかる健康教室を

町内循環バスで健康増進!

「運動教室に通ってみたいけど、足がなくて行けない・・・」と、交通手段がなく町で行っている健康教室に参加できない方は、町の循環バスをご利用ください。料金は、どこから乗っても乗車一回につき200円です。



問い合わせ 福祉保健課 ☎89-4419

各地区で実施します。
対象者 全町民
実施方法 1回コース(地区の集会所等で開催。詳しい日程は次回のお知らせ版をご覧ください)

食事のワンポイント

生活習慣病予防のためには、まず、あなたの食事内容をチェックしてみましょう。食生活は何と言っても健康づくりの基本です。○食事はバランスよく食べましょう。○1日3食、規則正しく、よく噛んでゆっくり食べましょう。

平成20年4月から始まります 後期高齢者医療制度 ③

来々4月から始まる「高齢者医療制度」の保険料についてお知らせします。

○保険料の決定方法

保険料は加入者が平等に負担する「均等割」と所得に応じて決められる「所得割」の合計額になります。

今後広域連合の議会で決定される、県内で同じ保険料率で決定される予定です。

保険料額は来々4月に通知することになっています。

※低所得者には保険料の軽減制度があります。

○保険料の支払方法

保険料の支払方法は原則として年金から天引きとなります。ただし年金が年額18万円未満の方や、介護保険料と合わせた保険料額が年金額の1/2を超える方は、町から送付される納付書や口座振替で収めることとなります。

○年金が年額18万円以上の方

年金からの天引き (特別徴収)

○年金が年額18万円未満の方
○介護保険料と合わせた保険料額が1/2を超える方

納付書または口座振替 (普通徴収)



被保険者

問い合わせ 町民課 ☎89-4418

震災でのボランティア活動に貢献

川口町老人クラブ連合会、 優良老人クラブ連合会として表彰される

10月11日、川口町老人クラブ連合会は全国老人クラブ連合会会長から優良老人クラブ連合会表彰を贈られました。これはボランティア活動など社会奉仕活動をはじめ、子ども安全見守り隊など地域の防犯・安全安心の町づくりを推進していること、中越大地震に際して、全国から集まったボランティアの道案内役を



引き受け、会員が相互に協力して支援活動に積極的に取り組んだことなどから表彰されたものです。

地域の防犯活動に功労

中林貢さん、防犯栄誉銀章を受章

10月4日、全国防犯協会連合会が行う防犯功労者表彰で、地域安全活動に尽力した功労により中林貢さん(川口3)へ警察庁長官、全国防犯協会連合会会長から防犯栄誉銀章が贈られました。中林さんは、小千谷市防犯協会連合会高齢者部会副会長として、犯罪予防の環境づくりを積極的に推進するとともに、防犯座談会を開催するなど高齢者が被害にかりやす



い「振り込め詐欺」などの被害防止や高齢者の交通事故防止に積極的に活動、地域の安全な環境づくりを推進しました。

新潟県統計グラフコンクール 奨励賞を受賞

10月18日、泉水小学校5、6年の児童4人が協力して作成した統計グラフが、新潟県統計グラフコンクールで奨励賞を受賞しました。

これは児童たちが環境をテーマに自分たちの生活の中で使用されている電気の使用量と世界の平均気温の変化を調べ、エネルギーの使いすぎが地球温暖化を招いていることを統計グラフとしてまとめたものです。制作者は次のとおりです。(敬称略)

- 広井 稚業 (泉水小6年)
- 白井 慶太 (泉水小6年)
- 保科 玲奈 (泉水小5年)
- 広井 彩音 (泉水小5年)



新潟県統計グラフコンクール
奨励賞作品

町内小学校で文化祭 泉水小学校、田麦山小学校では最後の文化祭に

(10月21日)

泉水小学校の「学習発表会」、川口小学校の「わかたけまつり」、田麦山小学校の「文化祭」が行われ、来年、川口小学校に統合される泉水小学校と田麦山小学校では最後の文化祭になりました。

泉水小学校では震災からの支援に感謝の気持ちを表すため「おかげ様感謝タイム」を設け、全校児童一人ひとりが感謝の気持ちを発表しました。また町内小・中学校向けに作成した「防災ハンドブック」を、中静校長は「命を大切にしてほしい」と呼びかけ、児童たちに手渡しました。



▲泉水小学校



▲田麦山小学校



▲川口小学校

親睦を深め合う

町民ふれあいデー (10月8日)

町民同士が思い思いに楽しみながら、お互いの交流を深める日として町民ふれあいデーが行われました。すばしく川口ではえちご川口生産者協議会がお汁やおにぎり、漬物などを提供、参加者は談笑して親睦を深めました。また子どもたちは元気に走り回ったり、ボールで遊んだり秋の一日を楽しんでいました。



夢花畑で秋の一日を満喫

ふるさと夢づくりの会「秋まつり」 (10月7日)

中山地区の地域づくりに取り組む「ふるさと夢づくりの会」(代表内藤ちい子さん)主催による「秋まつり」がさんご山(旧スキー場跡地)において行われました。当日は家族づれなど約30名が参加、山頂までのハイキングや、山頂で手作りの風上げ、風景の写生などで楽しみました。また、さんご山の一面に同会が整備し、「夢花畑」と名づけたコスモス畑の一面でイ



自然の息吹を感じて

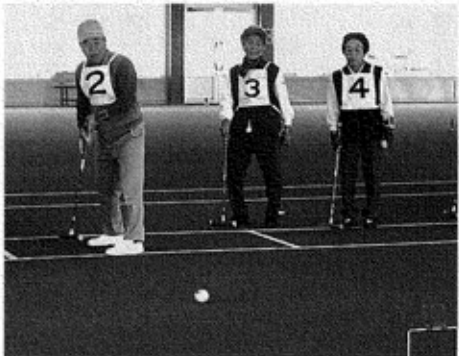
田麦山クロスカントリー大会 (10月7日)

田麦山スポーツ振興会と田麦山自然塾の共催で田麦山クロスカントリー大会が行われました。170人を超える参加者は2キ、3キ、5キのコースに分かれてスタート、草木を刈りとって作ったアツブダウンの激しいコースを疾走しました。またレース終了後には田麦山自然塾が開催され、参加者は自然について学びながらお互いの交流を深めていました。



優勝目指して熱戦
町民ゲートボール大会 (10月24日)
すばしく川口において町制施行50周年記念・震災復興3周年折念町民ゲートボール大会が開催され、8チームによる熱戦が繰り広げられました。

- 優勝 田麦山チーム
- 2位 和南津Aチーム
- 3位 西川口チーム
- 3位 和南津Bチーム



三味線の心打つ響きに涙

中山地区敬老会 (10月13日)

町内各地区では9月の敬老の日を前後して敬老会が行われました。中山生活改善センターで行われた中山地区敬老会には約50人が参加。同会では三味線の演奏グループ「堀澤ファミリー」が演奏を披露、その心打つ響きに参加者の中には涙を流す人もいて、会場は感動に包まれました。



町制施行50周年記念・震災復興3周年祈念

町民俳句大会

小学生76名、中学生18名、一般17名の合わせて111名が参加し、町民俳句大会が行われ、10月20日には、表彰式が行われました。



(敬称略)

町長賞

ひまわりはたいようめがけ飛んでゆく
太陽が終戦の日を刻み込む
子等帰り虫の合唱聞く夕べ

川口小六年 宮 健太郎
川口中二年 内藤 美穂
一般 岡村佐和子

教育長賞

サントさんいるのいないのどっちなの
夏の海なみが貝がらつれてくる
スイスイとプールでおよぐみずかまきり
こかぞくぐうたらひるねいいきもち
すいか割り小さなかけら蟻のもの
紅葉狩り林の先に君を見る
祖母に手を重ねて渡す木の実かな
瞑目の母に風鈴鳴りにけり

川口小六年 佐藤佳奈子
川口小六年 丸山 あい
田山小二年 橋井 美月
泉水小五年 保科 玲奈
川口中三年 山田 恭子
川口中三年 上村 菜里
一般 中沢 昭一
一般 杉倉 敦
一般 藤田 節子
山田 節子
喜多村キヨ
星野 きの
鈴木 良仙
佐藤 信

入選句(一般の部)

へこたれし吾に向日葵まぶしかり
稲の香や百姓なりし日の遠き
霧流れ現れ地震の山の疵
庭歩きいつしか秋草手に余り
月上げて村深ぶかと眠りをり
甲子園正午の黙禱終戦日

大会結果のお知らせ

(敬称略)

魚沼市・北魚沼郡中学校
新人球技大会

※入賞者のみ掲載
○卓球男子(10/3・堀之内体育館)
団体戦 2位
個人戦2年生の部
優勝 小林 稔(川中2年)
2位 米山 賢(川中2年)
3位 小林 祐介(川中2年)
北村 博志(川中2年)
○卓球女子(10/3・堀之内体育館)
団体戦 優勝
個人戦2年生の部
優勝 樋口 奈子(川中2年)
2位 渡辺 美咲(川中2年)
○バレーボール
(10/3・堀之内中体育館)
決勝トーナメント 3位
ソフトテニス男子
(10/3・月岡運動公園テニスコ
団体戦 3位

三市・三郡中学校新人陸上大会

※入賞者のみ掲載
○陸上男子
(9/26・十日町市宮陸上競技場)
砲丸投
優勝 小西 龍也(川中2年)
走高跳
3位 広井 岳幸(川中2年)
○陸上女子
走高跳
5位 真島 美香(川中2年)
6位 小林 彩(川中2年)

町錦鯉品評会

(10/21・相川サンウッド)
全体総合優勝 平沢芳行
最優秀賞 小林勇二
各部門優勝
第18部
紅白 小林勇二
三色 星野正晴
昭和写りもの 増田正利
光もの 広井伸昭
その他 星野正晴
星野正晴
小川 正
石坂良一
第55部
第45部
第35部
第25部
第65超部
第65部

作品「いじめゼロ 決してそ
れは 夢じゃない」

第33回魚沼市音楽の夕べに
川口中学校と
コーラスかわぐちが出演

魚沼市小出郷文化会館で開催される「第33回魚沼市音楽の夕べ」に川口中学校とコーラスかわぐちが出演します。この機会にぜひ聴いてください。

日時 11月11日(日) 13時～
会場 魚沼市小出郷文化会館
入場無料
問い合わせ
魚沼市小出郷文化会館
☎025-792-8811

第7回クリスマス音楽
発表会参加者募集

日時 12月2日(日) 13時30分～
会場 交流体験館 杜のかたらい
内容 ピアノ又は管弦楽器等による演奏会
申込 11月16日(金)までに町教育委員会へ申し込みください。
定員 先着20組
問い合わせ 教育委員会
☎89-2119

元気です!かわぐちっこ ⑫③

はると 山田 陽登 ちゃん(原新田・2歳)

おとうさん 智明さん おかあさん 雅子さん



お母さんにごはんを食べさせてあげる優しい陽登くん、ごはんの準備の時には自分でおにぎりをにぎって「美味しい」と言って食べます。大好きなウンボやブルドーザのミニカーで毎日遊んでいます。長靴をはき、小さなクワを持っておばあちゃんの畑の手伝いをしてくれます。早く保育園に行きたくて、春が待ち遠しい陽登くんでした。

川口町災害ボランティアセンター報告書が完成

川口町社会福祉協議会・川口町災害ボランティアセンターでは中越大地震における「川口町災害ボランティアセンター報告書」を作成、このたび完成しました。希望される方には有償でお譲りしますので、川口町社会福祉協議会にお申込みください。部数に限りがあります。
1冊 1,000円
問い合わせ 川口町社会福祉協議会(ぬくもり荘内) ☎89-3117



人口のうごき

19. 10. 19現在 *()内は前回からの増減

男	2,538人	(-2)
女	2,761人	(-3)
人口計	5,299人	(-5)
世帯数	1,527世帯	(±0)



町おこしの進め方8か条(町民が一致団結してエネルギーを発信していく時だ!)

- ① みんなで夢のような物語をまじめに話す。(スタートは夢)
- ② 夢のようなアイデアをみんなでやってみるか。(足を引っ張らない)
- ③ 決してできないと言わない。(やってみなければわからない)
- ④ 全員に情報を伝える。(全員が仲間)
- ⑤ 失敗しても楽しく反省会をやる。(失敗を生かす)
- ⑥ 失敗しても3回は続ける。(3度目の正直がある)
- ⑦ やっている本人が楽しくないことが他人に楽しい訳がない。(自ら楽しむ)
- ⑧ 笑う町には福が来る。(笑いが一番)
おまけ できない言い訳3つ...「できる」ことのヒントに!
一人ではできない 今はできない 従来の方法ではできない